



大河津分水路 可動堰 (新潟県燕市)



猪谷楡原道路 (富山県富山市)



金沢港 (石川県金沢市)

北陸の地域づくり2026



北陸地方の現況

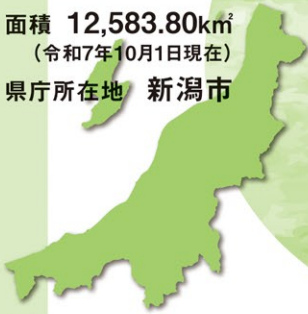
新潟県

日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東側に連なる朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西側に発達する西頸城山地および白馬山地の山々に囲まれています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の流域に日本海沿岸随一の広大な越後平野が広がっています。

人口 2,063,767人
(令和8年2月1日現在)

面積 12,583.80km²
(令和7年10月1日現在)

県庁所在地 新潟市



製造品出荷額等

54,667億円(令和6年)

出典:総務省ホームページ 2024年経済構造実態調査

河川の延長

5,382.2km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査*都道府県別

道路の延長

32,280.0km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2025 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(新潟港)

207,623TEU(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2024年速報値)

新潟県の日本一

米の産出額

1,225億円
(令和5年)

金属洋食器の出荷額

132億円
(令和5年)

天然ガス生産量

15億m³
(令和5年)

近年のトピックス

2025年12月:

米トラベルメディア「AFAR」にて「2026年に行くべき旅先」に佐渡島が選出



県の花

チューリップ

(昭和38年8月23日制定)



県の鳥

トキ

(昭和40年9月13日指定)



県の木

ユキツバキ

(昭和41年8月27日制定)



県の草花

雪割草

(平成20年3月1日指定)

出典:新潟県ホームページ

富山県

南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置し、東は新潟県と長野県、南は岐阜県、西は石川県に隣接しています。三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmという地形が特徴です。

人口 982,693人
(令和8年2月1日現在)

面積 4,247.55km²
(令和7年10月1日現在)

県庁所在地 富山市



製造品出荷額等

41,338億円(令和6年)

出典:総務省ホームページ 2024年経済構造実態調査

河川の延長

1,842.2km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査*都道府県別

道路の延長

14,709.8km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2025 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(伏木富山港)

75,659TEU(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2024年速報値)

富山県の日本一

人口1人あたりの
医薬品生産金額
63.5万円
(令和6年)

住宅用
アルミニウム製サッシ
116,380百万円
(令和6年)

チューリップの
球根出荷量
11,578千球
(令和5年)

近年のトピックス

2025年1月:

米紙ニューヨーク・タイムズの「2025年に行くべき52か所」に富山市が選定



県の花

チューリップ

(昭和29年3月22日選定)



県の鳥

ライチョウ

(昭和36年11月3日制定)



県の木

タテヤマスギ

(昭和41年10月1日制定)



県の獣

ニホンカモシカ

(昭和50年10月4日制定)

出典:総務省統計局ホームページ 富山県ホームページ

石川県

北陸地方の中部に位置し、東は富山県・岐阜県に、南は福井県に接し、白山国立公園に源を発する手取川による肥沃な加賀平野、北は能登半島となって日本海に突出しています。県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでいます。

人口 1,087,386人
(令和8年2月1日現在)

面積 4,190.94km²
(令和7年10月1日現在)

県庁所在地 金沢市



製造品出荷額等

32,064億円(令和6年)

出典:総務省ホームページ 2024年経済構造実態調査

河川の延長

1502.0km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査*都道府県別

道路の延長

13,739.4km(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2025 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(金沢港)

60,962TEU(令和6年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2024年速報値)

石川県の日本一

金属はく(打ちはく)
出荷額
4,078百万円
(令和6年)

大学・短大等学校数
(人口10万人当たり)
1.80校
(令和6年)

重要伝統的建造物群
保存地区数
8地区
(令和6年)

近年のトピックス

2025年12月:

BBC Travelが選ぶ「2026年に訪れたい旅行先ベスト20」に石川県が選出



県の花

クロユリ

(昭和29年3月19日決定)



県の鳥

イヌワシ

(昭和40年1月1日指定)



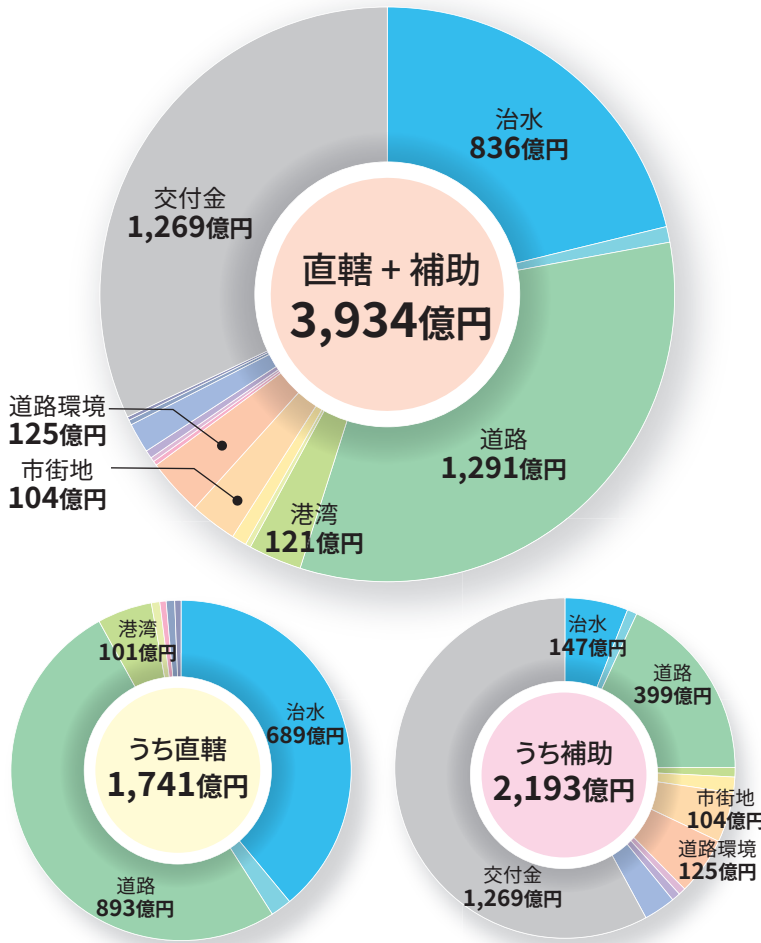
県の木

あて(能登ヒバ)

(昭和41年10月1日指定)

出典:総務省統計局ホームページ 石川県ホームページ

令和8年度予算の概要



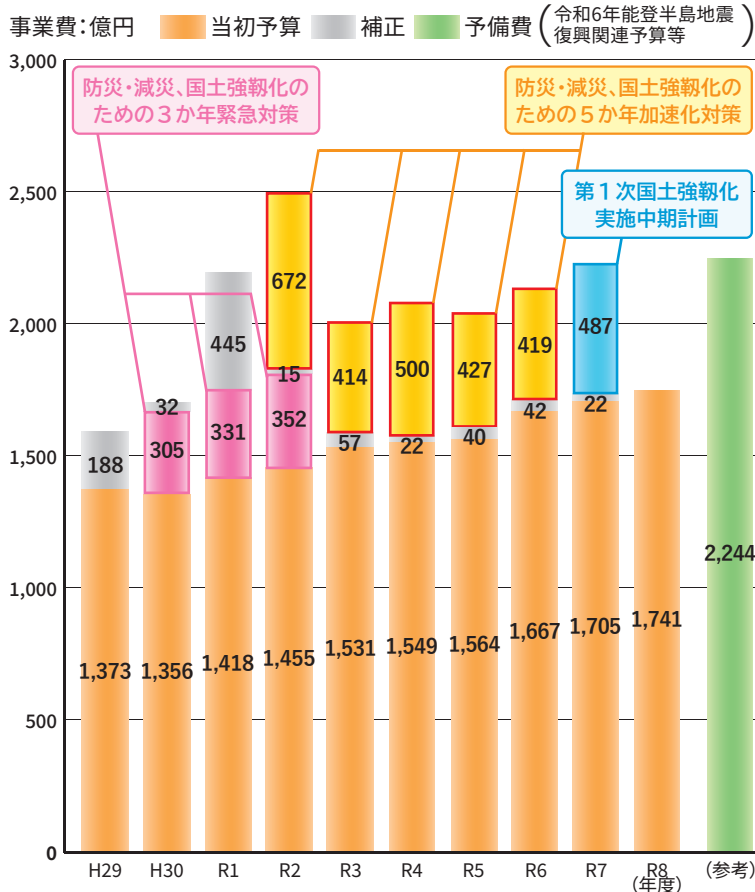
事業別配分額

単位:百万円

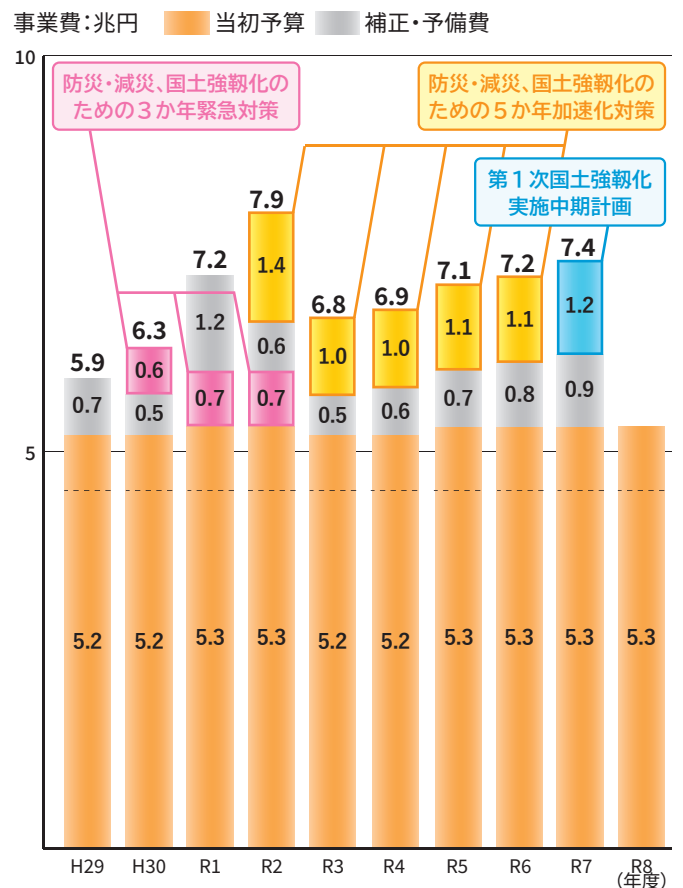
区分	令和8年度当初		
	直轄	補助	合計
治水	68,908	14,721	83,629
海岸	2,977	495	3,472
道路	89,266	39,861	129,127
港湾	10,103	1,994	12,097
空港	1,192	—	1,192
住宅対策	—	3,282	3,282
市街地整備	—	10,386	10,386
道路環境整備	—	12,535	12,535
都市水環境整備	603	—	603
上下水道	—	625	625
水道	—	1,796	1,796
下水道	—	6,609	6,609
国営公園等	1,082	—	1,082
官庁営繕	20	—	20
小計	174,149	92,304	266,453
交付金	—	126,946	126,946
合計	174,149	219,250	393,399

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがあります。

北陸地方整備局の直轄事業予算推移



参考 公共事業関係費(国土交通省)の推移



※令和8年4月8日時点

北陸地方の特徴

美しい自然環境と、自然災害発生要因をあわせ持つ地域

日本列島を縦断する3,000m級の山々から日本海沿岸地域に至る変化に富んだ自然は、美しい景観や多様な生態系と豊かな水環境を育む一方、急峻な地形、脆弱な地質、急流河川を形成し、日本有数の降水量や冬期の季節風・降雪など、多くの自然災害の発生要因を有しています。



3,000m級の山々から日本海沿岸に至る豊かな自然
(呉羽山より望む立山連峰(富山県))



日本有数の豪雪地帯を通過する国道18号における除雪
(新潟県妙高市)



荒廃の著しい白山から下流域を守り続ける甚之助谷砂防堰堤群
(石川県白山市)

頻発化・激甚化する水災害

気候変動による影響は北陸地方でも見られ、令和元年東日本台風では記録的な大雨となり、長野県の千曲川で堤防が決壊し甚大な被害が発生しました。

また各地で、線状降水帯による記録的な豪雨による被害も発生しています。



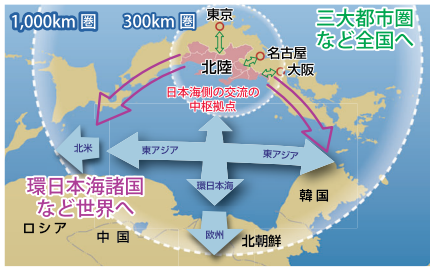
令和元年東日本台風による堤防決壊(長野県長野市)



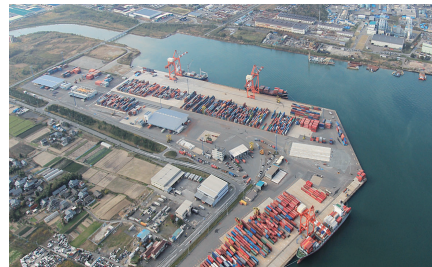
今井遊水地整備状況(長野県中野市)

三大都市圏に近接し、日本海対岸諸国に面する北陸

日本列島の扇の要に位置する北陸地方は、三大都市圏のいずれからも300km圏内にあり、中国をはじめとする経済成長著しい対岸諸国と日本海を挟んで対面するなど、環日本海諸国とを結ぶ交通結節点として、また、三大都市圏等を結ぶ連携軸と日本海側の国内各都市間の連携軸が交差する中枢地点として、地理的優位性を有しています。防災面では、太平洋側での大規模災害発生時における広域的な防災活動や産業経済活動のバックアップ機能を発揮する役割を果たしており、「日本海・太平洋2面活用型国土の形成」を牽引する地域を目指しています。



環日本海諸国と対面する北陸地方



地域経済を支える新潟港(新潟県新潟市・聖籠町)



太平洋側大規模災害時におけるバックアップ体制のイメージ



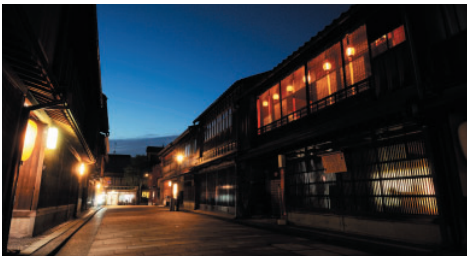
災害を想定した代替輸送実験



災害支援物資の緊急輸送状況

豊かな歴史・文化と優れた住環境

北陸地方は、豊かな歴史文化遺産や文化的景観を有し、人口・産業等が集積する主要な都市が接続し、都市周辺の多様な自然環境と近接する農山漁村が相まって、都市の利便性と豊かな自然のめぐみ、ゆとりある暮らしなど、優れた住環境を有します。一方で、全国より早いペースで人口減少が進行し、地域の活力低下が危惧されており、中心市街地の活性化などの課題に対応するため、各都市においてコンパクト・プラス・ネットワークによるまちづくりが進められています。



ひがし茶屋街(石川県金沢市)



イベント活用可能な歩行空間(富山県富山市)



高田雁木通り(新潟県上越市)

第1次国土強靱化実施中期計画

気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や、切迫する大規模地震災害から国民の生命・財産・暮らしを守り、国家・社会の重要な機能を維持するため、「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、防災・減災・老朽化対策を含む国土強靱化の取組を切れ目なく推進します。

流域治水の加速化・深化

流域全体のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」について、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化に対しても、河川整備やダム事業等の事前防災としての「ハード対策」とマイタイムラインの促進等の「ソフト対策」で一体となり、地域を守るプロジェクトとして、防災対策を実践していきます。

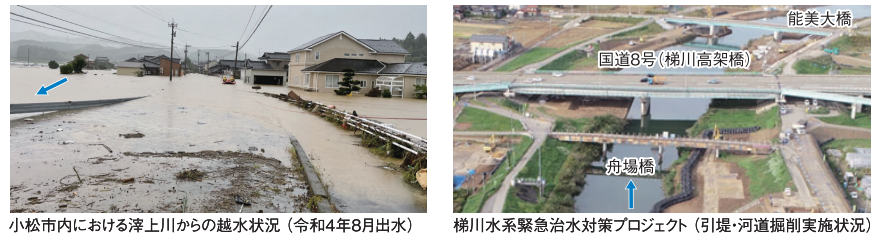
流域治水プロジェクト

管内一級河川の12水系11流域治水協議会において「流域治水プロジェクト」をとりまとめ、あらゆる関係者でハード・ソフト一体となった対策を進めています。



緊急治水対策プロジェクト

令和元年東日本台風では信濃川流域において、また、令和4年8月には荒川流域及び梯川流域において甚大な被害が発生したことから、流域の関係者と連携して「緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ、地域の安全・安心を確保するための対策を推進しています。



TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)

TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施している組織です。
令和7年6月4日に公布・一部施行された「災害対策基本法等の一部を改正する法律」を受け、近年の激甚化する災害に対応するため、従来の組織に加えて「TEC-FORCE予備隊員」、「TEC-FORCEアドバイザー」、「TEC-FORCEパートナー」といった新たな枠組みが制度的に位置付けられました。これにより、行政機関・民間企業・学識者などが一体となって被災地を支援できる新たな応援体制が構築されていきます。



令和6年能登半島地震及び9月豪雨災害からの復旧・復興

令和6年能登半島地震及び9月豪雨災害では、河川・道路・港湾空港施設等の社会インフラが甚大な被害を受けました。北陸地方整備局では、各種法律で定められた、権限代行制度や、国直轄制度を活用し、インフラの復旧を進めるとともに、創造的復興に向けて、引き続き各自治体との連携を図っていきます。

【輪島市】国道249号の復旧とイベント協力

斜面崩壊による通行止め
海岸隆起部を活用し、通行確保
復旧した249号を活用し「サイクルロード」の200特別企画「国能登復興サイクル100」の開催

【輪島市】河原田川・名舟地区、【珠洲市】宝立正院海岸での恒久対策の実施により地域の復興の後押し

河原田川において護岸の復旧を実施
名舟地区土すべり対策にて法面工を実施
宝立正院海岸において護岸の復旧を実施

【七尾市】七尾港 大田岸壁復旧による観光産業の再開後押し

液状化によるエプロンの沈下
応急復旧により船舶が可能な岸壁
奇襲目 R79.17 最島川
応急復旧で計画的に利用（3号岸壁）
本格復旧中（物産岸壁）

【内灘町】液状化対策実証実験

【七尾市】小丸山団地完成イメージ

能登 No.10
防災・復興

活力・成長力

- ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進
- 脱炭素社会の実現に向けたGXの推進
- 国土交通分野のDXや技術開発等の推進

地域経済を支える港湾機能の強化

サプライチェーンのグローバル化の進展により、島国日本における港湾の役割はますます重要になっています。国際拠点港湾、重要港湾を中核とした港湾機能を強化することで、新たな産業誘致や地域産業の再生、雇用創出、更なる民間投資の促進を誘発するなど、地域の発展や企業の国際競争力を高め、地域経済を支えています。

金沢港においては国際物流ターミナルを整備することにより、背後企業が他港までトラック輸送していた海外向け製品を金沢港利用に転換し、輸送コストが削減されることで地域産業の国際競争力強化、地域経済の活性化に寄与しています。

その他、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を図ることにより、荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾を形成します。



金沢港での建設機械の輸出の様子



カーボンニュートラルポート (CNP) のイメージ

産業の構造転換及び国際競争力強化への貢献

荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成

道路ネットワーク形成と地域間の連携強化

多核連携型の国づくりや安定した人流・物流の確保に対応するため、国土全体として安全で円滑な人やモノの移動を確保することが必要であり、速達性とアクセス性が確保された国土幹線道路ネットワークの構築に向けて、高規格道路の整備や機能強化に取り組むとともに、交通拠点の整備によるモーダルコネクットの強化や渋滞対策、物流支援等の取組を進めます。



日本海沿岸東北自動車道 朝日温海道路(新潟県上市)



富山外郭環状道路 豊田新屋立体(富山県富山市)

インフラ分野のDXを担う人材育成の推進

北陸インフラDX人材育成センターを拠点として、DX研修や出張DXルーム、学生向けのDX体験会など、インフラ分野のDXを担う人材育成に取り組んでいます。

北陸インフラDX推進 (北技HP)



北陸インフラDX人材育成センター研修

本研修は、ICT活用の普及拡大、ICT施工の技術者育成及び、職員のDX技術向上を目的として実施しています。人材育成センターに加え、富山でも研修を行うことで、より多くの人材の育成に積極的に取り組んでいます。

令和8年度DX研修計画

対象者	研修内容
施工者・発注者	① BIM/CIM (施工計画検討)
施工者・発注者	② BIM/CIM (地形モデル作成)
施工者・発注者	③ BIM/CIM (構造物モデル作成)
施工者・発注者	④ ICT施工 (3次元データ作成)
発注者	⑤ 3次元測量
発注者	⑥ UAV写真測量
施工者	⑦ ICT遠隔施工講習会(仮称)



BIM/CIM (施工計画検討) 研修 富山会場



ICT施工研修 (3次元データ作成)



ICT遠隔施工講習会 (屋外実習フィールド)

出張DXルーム

ICT活用やDX技術をより多くの方に体験していただくことを目的に、センター機能を地域へ展開する「出張DXルーム」を実施しています。ICT・DX技術の体験機会を拡大して、地域のインフラDX推進と人材育成を進めています。



バックホウシミュレータ体験



除雪トラックシミュレータ体験

※上記写真は令和7年度に開催された「出張DXルームin 金沢」の様子

学生向けのDX体験会

次世代の建設業を担う学生の皆さんにインフラDXを身近に感じていただくため、最新のICT施工技術やDXを体験できるプログラムとして実施しています。建設業では担い手不足が進む中、DXが進む業界の新たな魅力を知っていただくことで、将来の担い手育成にもつなげています。



VR橋梁点検体験



BIM/CIM体験



UAVシミュレータ体験

先進技術の積極的な活用

民間企業等の新たな技術の活用により、i-Construction2.0を積極的に推進するとともに、能登半島の復旧・復興を推進していきます。



四輪多関節型作業機械「スバイダー」



AI巡回を活用した工事進捗、災害状況の把握



操縦側:会社 千葉県君津 CD操縦席 BH操縦席 CD:クローラダンプ BH:バックホウ

光回線 620km 無線LAN AP 遠隔操縦している重機で掘削土留土作業している様子 遠隔操縦概念図

豊かな暮らし・環境

- 共存社会実現に向けたバリアフリー社会の形成と活力ある地方づくり
- 持続可能である活力ある国土の形成
- 豊かな暮らしを支える社会資本整備の総合的支援

多様な事業が一体となった魅力あるまちづくり

人口減少・超高齢者社会を迎えるなかでも、まちなかの活性化を維持・促進していくためには、人々が集い・賑わい・憩える都市空間を創出することが必要であり、北陸の豊かな自然や良好な景観を活かした拠点づくりにむけ、道路分野における交通結節点の整備や、河川・港湾分野における水辺空間の整備など、様々な分野が連携した取組を推進することで、効率的・効果的に魅力あるまちづくりを推進します。

様々な分野が連携したまちなかの賑わい空間の創出

河川

魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって創出



港湾

海岸保全施設整備事業により砂浜が再生され、更なる賑わい空間を創出



様々な分野が連携した魅力あるまちづくり

道路

万代島ルート線の整備により交通が転換し「人」中心のいかに2kmが実現



都市

南北市街地の一体化により、まちなか地域の活性化を促進




広域的レクリエーション拠点の整備 多様な世代が「集う場」の創出

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性を活かし、自然との共生のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」をテーマに、広域的レクリエーション拠点整備により、文化活動への対応、良好な都市環境の形成、多様な世代が集う憩いの場の創出を図ります。




活力ある持続可能なまちづくりの支援

北陸地方整備局では、社会資本整備総合交付金等の支援制度にて、管内自治体が推進する活力ある持続可能なまちづくりの支援を行っています。令和6年4月に水道行政が厚生労働省から移管されたことを受けて、水道整備・管理行政の一部を新たに地方整備局が担うこととなりました。今後は上下水道一体となった計画的・集中的な整備等を促し、より一層、他の社会資本と一体となった持続可能なまちづくりの推進に向け、支援を行ってまいります。




公共建築・建築行政

北陸地方整備局では、国の行政を行うための国家機関の施設(合同庁舎、税務署、ハローワークなど)の整備や保全の指導を行う他、公営住宅などの整備にかかる支援などを行っています。

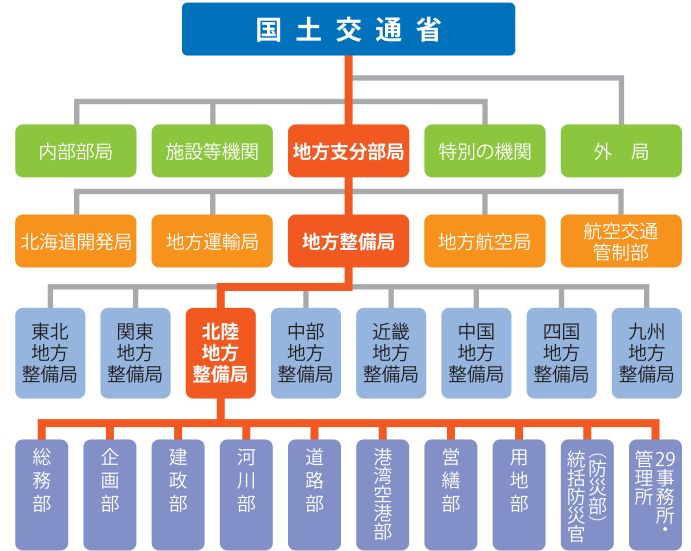
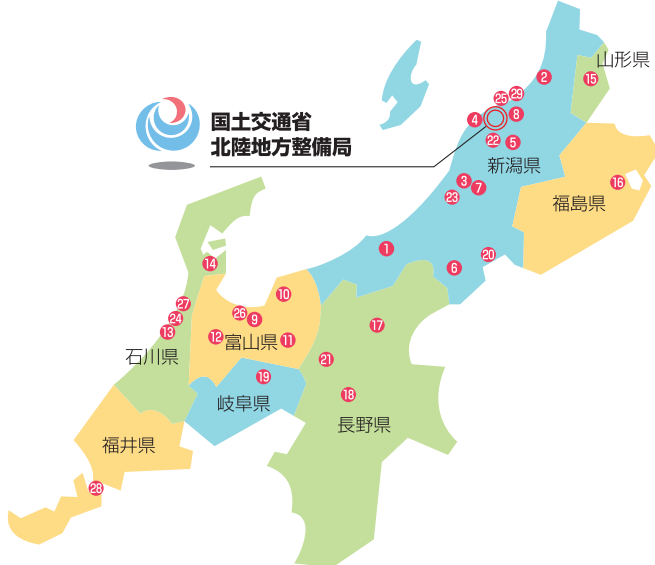



組織概要

北陸地方整備局は、国土交通省の地方支分部局(出先機関)として、道路、河川、港湾、空港などの整備及び維持管理、防災対策などを所管しています。また、直轄事業を施行する事務所・管理所と出張所を有し、調査・計画、用地取得、工事・監督、維持・管理、防災対策の業務を約1,900名の職員で行っています。

管轄する区域内の関係県は、新潟、富山、石川の全域と、山形、福島、長野、岐阜、福井の一部を所管しています。

組織体制



令和6年4月より水道整備・管理行政が移管され、一部の事務を北陸地方整備局で担っています。

事務所等連絡先

図NO./名称	所在地	電話	ホームページ
① 高田河川国道事務所	〒943-0847 新潟県上越市新南町3番56号	025-523-3136	https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/
② 羽越河川国道事務所	〒959-3196 新潟県村上藤沢27-1	0254-62-3211	https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/
③ 信濃河川事務所	〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号	0258-32-3020	https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/
④ 信濃川下流河川事務所	〒951-8153 新潟県新潟市中央区文京町14番13号	025-266-7131	https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/
⑤ 阿賀野河川事務所	〒956-0032 新潟県新潟市秋葉区南町14番28号	0250-22-2211	https://www.hrr.mlit.go.jp/agano/
⑥ 湯沢砂防事務所	〒949-6102 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立23	025-784-2263	https://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/
⑦ 長岡国道事務所	〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1	0258-36-4551	https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/
⑧ 新潟国道事務所	〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2丁目1番65号	025-244-2159	https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
⑨ 富山河川国道事務所	〒930-8537 富山県富山市奥田新町2番1号	076-443-4701	https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/
⑩ 黒部河川事務所	〒938-0042 富山県黒部市天神新173番地	0765-52-1122	https://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/
⑪ 立山砂防事務所	〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峠字ブナ坂61番地	076-482-1111	https://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/
⑫ 利賀ダム工事事務所	〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1丁目5番10号	0763-33-4701	https://www.hrr.mlit.go.jp/toga/
⑬ 金沢河川国道事務所	〒920-8648 石川県金沢市西念4丁目23番5号	076-264-8800	https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/
⑭ 能登復興事務所	〒926-0046 石川県七尾市神明町12番地2 NTT七尾ビル3階	0767-52-4511	https://www.hrr.mlit.go.jp/notofukkou/
⑮ 飯豊山系砂防事務所	〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3丁目48	0238-62-2566	https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/
⑯ 阿賀川河川事務所	〒965-8567 福島県会津若松市表町2番70号	0242-26-6441	https://www.hrr.mlit.go.jp/agagawa/
⑰ 千曲川河川事務所	〒380-0903 長野県長野市鶴賀字峰村74番地	026-227-7611	https://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/
⑱ 松本砂防事務所	〒390-0803 長野県松本市元町1丁目8番28号	0263-33-1115	https://www.hrr.mlit.go.jp/matamoto/
⑲ 神通川水系砂防事務所	〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿1020番地4	0578-82-1220	https://www.hrr.mlit.go.jp/jintoku/
⑳ 三国川ダム管理所	〒949-6741 新潟県南魚沼市清水瀬686-59	025-774-3015	https://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/
㉑ 大町ダム管理所	〒398-0001 長野県大町市平字ナロワ大クボ2112-71	0261-22-4511	https://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/
㉒ 北陸技術事務所	〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5	025-231-1281	https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/
㉓ 国営越後丘陵公園事務所	〒940-2043 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1	0258-47-1471	https://www.hrr.mlit.go.jp/echigo/
㉔ 金沢営繕事務所	〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目4番1号 金沢駅西合同庁舎3階	076-263-4585	https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/
㉕ 新潟港湾・空港整備事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6111	https://www.niigata.pa.hrr.mlit.go.jp
㉖ 伏木富山港湾事務所	〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-3	076-441-1901	https://www.toyama.pa.hrr.mlit.go.jp
㉗ 金沢港湾・空港整備事務所	〒920-0331 石川県金沢市大野町4-2-1	076-267-2241	https://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp
㉘ 敦賀港湾事務所	〒914-0065 福井県敦賀市松栄町7-28 敦賀地方合同庁舎3階	0770-22-2590	https://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp
㉙ 新潟港湾空港技術調査事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6115	https://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp

お問合わせ先／本冊子の内容、その他、北陸地方整備局全般についてのお問い合わせは下記まで。



国土交通省 北陸地方整備局 企画部企画課

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 新潟美咲合同庁舎1号館
tel:025-280-8880 e-mail:kikaku@hrr.mlit.go.jp HP: <https://www.hrr.mlit.go.jp/>



北陸地方整備局 HP



公式 X



北陸インフラDX推進 (北技HP)

令和8年4月 現在